

時論公論 「シェール革命に揺れるロシア」

2012年12月28日(金)

アメリカで始まったガスやオイルのシェール革命が世界最大のエネルギー大国ロシアを揺さぶっています。

プーチン大統領は、天然ガスなど積極的な生産拡大を見込んでいたエネルギー戦略の見直しを余儀なくされ、ロシアは新たな市場・アジア市場を目指す動きを強めています。

そしてそのことが日ロ関係を動かそうとしています。

きょうはシェール革命がロシアに与えた影響について考えてみます。

シェール革命とは、今まで採掘不可能と思われたシェール層と言われる地層から技術革新によって天然ガスの採掘が可能となったことです。さらに最近ではシェールオイルと言われる原油も同様の方法で採掘が可能となりました。アメリカエネルギー省の予想によりますと2030年までにアメリカの天然ガス生産は2倍近くに増えて、その40%がシェールガスになるとしています。

アメリカ国内のガス価格は下落を続け、日本などアジア市場の五分の一以下の安さとなっています。オバマ大統領も今月、シェールガスやオイルなどの生産の増加によってアメリカはエネルギーの純輸出国となると自信を示しています。